

# 歴史地理情報研究班

研究プロジェクト代表

矢野 桂司

(立命館大学大学院文学研究科・教授)

## バーチャル京都

歴史地理情報班  
バーチャル京都プロジェクト 2007-2011



立命館大学文学部地理学教室  
Geography Department, Ritsumeikan

歴史地理情報班  
メンバー 2009

- ・事業推進担当者・
  - 矢野桂司
  - 中谷友樹
  - 河角龍典
  - 金田章裕
  - 田中寛
- ・PD(拠点)・
  - 勝村文子
- ・PD(学内)・
  - 花園和聖
- ・PD(JSPS)・
  - 塚本章宏
- ・COE招聘教員・
  - 高瀬裕
- ・RA2・
  - 近藤暁夫(D4)
  - 戸所泰子(D4)
  - 本多健一(D1)
- ・RA3(JSPS)・
  - 桐村喬(D2)
- ・研究員・
  - 飯塚隆藤
  - 磯田弦
  - 井上学
  - 松岡恵悟
  - 河原大
  - 玉田浩之
- ・研究員(海外)・
  - Margaux Delayre(仏)
  - 安本晋也(英)
- ・学内研究協力者・
  - 瀬戸寿一(文学部)
  - 河原典史(文学部)

文学研究科人文学専攻  
地理学専修教員

目標

バーチャル京都は、歴史都市京都の過去、現在、未来を探求することを目的に、コンピュータ上に構築されたバーチャル時・空間である。

本研究では、最先端のGISとVR技術を用いて、複数の時間スライスの3次元GISからなる4次元GISとしてのバーチャル京都を構築する。

本研究は、まず、現在の京都の都市景観を構築し、過去にさかのぼる形で、昭和期、明治・大正期、江戸期、そして、京都に都ができた平安京までの都市景観を復元する。

バーチャル京都は、京都に関連する様々なデジタル・アーカイブされたデータを配置したり、京都の組織で洗練された文化・芸術を世界に発信したりするためのインフラストラクチャーである。

そして、Webでのバーチャル京都は、歴史的な景観をもつ京都の地理学的文脈の中で、文化・芸術の歴史的データを探求するためのインターフェイスを提供する。さらに、バーチャル京都は、京都の景観計画を支援し、インターネットを介して世界に向けての京都の豊富な情報を配信するという重要な役割を担うことになる。



研究トピックス(2002～)



最近の研究トピックス(2007～)

1. バーチャル京都のコンテンツの拡充
  - 1) 京町家GIS
  - 2) 近代建築GIS
  - 3) 路傍祠GIS
  - 4) 地名辞典の作成
  - 5) 新町通りの都市景観復元
  - 6) バーチャル長岡京
2. バーチャル京都のWeb配信
  - 1) バーチャル京都の携帯配信
  - 2) バーチャル京都GIS2.0
  - 3) バーチャル京都を用いたデジタル・ミュージアム
3. バーチャル京都の利活用
  - 1) 新町通りの景観シミュレーション
  - 2) 京都市新景観条例の可視化



さらに知りたい人へ

Contact: yano@h.ritsumei.ac.jp

On Book  
『バーチャル京都』

Yano, K., Nakamura, T. and Tsuda, Y. (Ed.) (2007): Virtual Kyoto: Exploring the Past, Present and Future of Kyoto. Nakamura Shoin.

On Web  
バーチャル京都3Dマップ

<http://www.geo.it.ritsumei.ac.jp/webgis/ritsumei.html>

